

総務教育委員会

協議会  
2月9日

「生涯学習課」の課名を  
「文化スポーツ課」に変更



南部交流プラザやまびこ館（逆川）

新郷土博物館、新体育館構想の計画づくりが進む。歴史資源を大切にす環境と、スポーツに親しむ社会を、地域と共に構築するなど、教育分野で「文化」「スポーツ」を強力に推進する。  
そのための課名変更である。

**問** グループ名はどうするのか。ホームページの変更など、どのくらい掛かるのか。  
**答** グループ名は今後考えて行く。4月

1日に間に合うよう準備している。

幸田南部まちづくり交流拠点施設の愛称が、深溝小児童などの応募の中から、「南部交流プラザやまびこ館」と決定した。

**問** 南部の人たちだけでなく、町全体で使ってもらえる施設にして欲しいが。

**答** 各課が他の施設で行っている行事などを、可能であればこの施設を使うことなどを考えている。

**問** 今までの施設とはここが違うなど、アピールすることはあるか。

**答** 防災啓発拠点ということから、デジタル技術を使った施設整備を予定している。（その他8項目を協議）

管内視察  
1月16日

順次整備される  
防災関連施設を視察

相見駅設置の  
防災備蓄倉庫

大規模災害発生時の対策として、JR利用帰宅困難者のために設置した。

500人分の防災食、飲料水、ブランケットなどが備蓄されている。

災害用マンホール  
トイレ（幸田小）

災害時に被災者がトイレが使えず、体調を崩すことが無いように基幹的避難場所10か所に順次整備を進める。

モバイル型建築  
ユニット整備

企業版ふるさと納税制度で寄附されたもの。消防本部、三ヶ根駅東口、清幸園の3か所に置かれ、平常時は訓練などに使い、災害時は要請により、被災地へ搬送する事もある。



# 福祉産業建設委員会

協議会  
2月6日

## 大草広野地区福祉構想 決まる



高齢者生きがいセンター予定地（大草）

年々増加する高齢者が「生きがい」を持って生活を送ることができるよう、就労機会の創出、健康保持、地域交流による生きがい推進、介護予防等の場を創出。  
構想対象地域では、高齢者生きがいセンターの移転・拡充構想を中心に、高齢者、障がい者福祉及び子どもの発達支援など、総合的な福祉施策推進の拠点づくりを目指す。

**問** 若者の居場所は。エリア構成の中で、若者という言葉を取り入れ考えたい。（その他17項目を協議）



シルバー人材センター事務所予定地（大草）

**問** 横断歩道の位置は。現在と同じ様な道路構成で整備したい。  
**答** 歩行者と自転車の安全対策は。子どもが自転車で走ることを想定し、子どもにわかりやすい表示に努めたい。

管内視察  
1月26日

## し尿・浄化槽汚泥処理方法などを視察



施設の機能は、下水道管で集め、活性汚泥法によって浄化したのち、三河湾に放流している。

### 蒲都市下水道浄化センター



竣工後30年を経過し、今後のし尿、浄化槽汚泥の処理方法について、調査を開始している。

### 清幸園衛生処理場



町民の大きな笑顔と医療で広くつながる福祉の拠点をコンセプトに、町民の健康と生きがいづくりをサポートする。

### 高齢者生きがいセンター予定地（大草広野）



2020年9月に完成した体験型宿泊施設で、障がい者とその介護者が利用できる。

### 自立支援「みらい」